

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 大分県福社会 児童養護施設 森の木
------	-----------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成 25 年 12 月 18 日、16 日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 大分県福社会 児童養護施設 森の木	種 別：児童養護施設
代表者氏名：会 長 有松一郎	定員（利用人数）36名
所在地：大分県大分市大字中尾457-1 TEL：097（549）3508	

④総評

◇評価の高い点

- 「八つ褒めて二つ叱る」という支援を大切にし、文章の中に取り込んで職員に周知し子どもの自己肯定感の形成に努めている。またスモールステップという頑張り表を作成し支援している。
- 土曜日の朝食はユニットで作り、より家庭的な雰囲気のもと子供たちにも調理や手伝いが自然と身につくような支援が行われている。
- 保護者については「協働子育てについて（おねがい）」に基づき、施設の養育・支援の方針などの説明を丁寧に口頭で行っている。
- 関係機関との連携については、2ヶ月毎のFSWとの会議、水曜日には里親支援専門員が定期的に事例の検討を行っている。地域との交流では、賀来の市、公民館活動を通じて地区と積極的な交流や大分大学学習ボランティアの受け入れがなされている。
- 「安全・安心森の木、思いやりの心を育てる森の木、協働子育ての森の木」を理念とし、ケア基準（経営方針）の11項目を基本方針として明文化を行い、中長期の計画を策定している。
- 信頼された施設、地域に役立つ（住民と一緒に声を出す）、職員が自ら動く体制、プロジェクトチーム体制推進などに施設長はリーダーシップを発揮している。中長期計画に必要な人材や人員体制についてのプランも示され、また、人事異動の工夫を行い専門職の育成を図っている。

◇改善を求められる点

- 未知の施設生活への不安を解消できるように配慮した子供向けの「利用のしおり」を作成するなどして、口頭と文書とでわかりやすく説明していく取り組みを期待する。
- 本園は施設規模が大きく地域の不審者情報や不審者侵入等へ対応についての整備見直しを希望する。今後、子どもの安全を脅かす事例について、情報の共有化、要因分析、対応策の検討を組織的・継続的に実施することを希望する。
- 新人職員や職員間の連携を図るための情報の共有化を期待する。学校での様子や課題の把握をより進め、子どもに関する情報をでき得る限り共有しながら育てる体制づくりを期待する。
- 組織として特定の職員が課題を抱え込まないように職員個別の悩みを十分に収集、解決する仕組みを期待する。
- 被虐待児が7割を超える中での職員の長時間就労が課題であり、児童養護施設協議会で改善に向けた取組について協議することを期待する。養育・支援においては、個々の子どもの状況に応じることは必要なことであるが、安全性を含めて一定の水準以上の支援の提供を担保するためには、施設として実施しなければならない事項をまとめ、養育や支援の内容ごとに標準的実施方法を文書化し定めることを希望する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受審し、あらためて森の木のサービス内容を見直し、全職員が情報を共有することができた。また、マニュアルの整備もでき、一貫した支援のための基礎づくりができた。

森の木の理念である①安全・安心森の木、②思いやりの森の木、③協働子育ての森の木をめざし、職員が一丸となり取り組むとともに地域の人々に頼りにされる施設づくりを目指していきたい。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）